

みどりっ子

〈よい子 強い子 みどりの子〉

伊丹市立緑丘小学校
校長 和久 学

令和5年度全国学力・学習状況調査結果について

4月18日(火)に実施された「全国学力・学習状況調査」(6年生対象)の結果が公表されましたので、本校の結果の傾向と今後の取り組みについてお知らせします。

なお、この調査で測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一つの側面ですが、1年生から6年生までの積み重ねが「学力」および「生きる力」の向上につながっています。どの学年にも通じる内容としてご一読ください。

1 調査内容

(1) 学力に関する調査

【国語、算数】それぞれ45分

- ①身に付けておかなければ、後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠で、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能。
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立てて実践し、評価・改善する力等に関わる内容。

*調査問題では、上記①と②が一体的に問われています。

(2) 学習状況に関する調査(児童質問紙)(20分~40分程度)

- ①小学校第6学年の児童対象の、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査。

2 調査結果

(1) 学力に関する調査結果について

- ①【国語】の正答率は、全国平均および兵庫県平均、伊丹市平均を上回りました。
 - ・個別に見ると、言語に関する問題の正答率は、前年度よりかなり上昇しています。これは、昨年度から国語を研究の主要教科としたことと、3年生以上で実施している「ことばの学習」の効果により、学習内容がしっかりと定着してきたと言えます。
 - ・記述問題の正答率も、前年度より大きく上昇しています。また、インタビューなどの場面で活用できる、話したり伝えたりする力も、かなりの上昇が見られます。話すこと・聞くこと・書くことを大切にした学習の取り組みの成果であると考えます。
- ②【算数】の正答率についても、全国平均および兵庫県平均、伊丹市平均を上回りました。
 - ・特に、「数と計算」に関する問題と、「データの活用」に関する問題では、昨年度の正答率を大きく上回っています。
 - ・また、「比例」に関する一連の問題は、どの問いも高い正答率を示しています。
 - ・一方、図形の面積に関する問題は、テープの幅が高さに相当することに気づけなかったため、正答率は低くなりました。

(2) 学習状況に関する調査結果について

質問は59項目ありました。前年度と同じ質問は40項目でした。

- ①肯定的な回答が昨年度より大きく上昇し、全国平均よりも上回っている注目すべき項目

- ・「将来の夢や目標を持っている」
- ・「家で自分で計画を立てて勉強している」
- ・「読書好きの割合」
- ・「学校以外での勉強時間」
- ・「タブレット等のICT機器の使用頻度」
- ・「受けた授業は自分に合っていたか」

このことから、学校生活に前向きに取り組み、学習活動にも意欲的な児童が増えていることが見て取れます。

②改善が必要な項目（「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」が60%未満の回答）

- ・「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」
- ・「今住んでいる地域の行事に参加している」
- ・「授業で自分の考えをまとめる活動を行っていた」
- ・「総合的な学習の時間には、自分で課題を立てて、情報を整理し、発表するなどの学習活動に取り組んでいる」
- ・「国語の勉強が好き」
- ・「英語の勉強が好き」

学校の先生や大人に相談しやすいと思っている児童が、6割を切っていることから、子どもたちが話しやすい雰囲気や環境作りを進めていくことが大切だと受け止めています。また、学習の進め方について、子どもが主体的に取り組める工夫が必要だと認識しています。

そして、国語や英語が好きな児童は少ないですが、授業内容は理解しているという児童は8割を超えていることから、子どもを惹きつける楽しい授業の工夫が必要であることも分かりました。

3 今後の取り組み〔学力調査後、すでに実施、実施済みも含みます〕

（1）学校において

①書く時間を設ける

- ・授業の終わりに、振り返りを書く時間を設け、どの教科においても日常的に書くことを大切に学習を習慣づけていきます。
- ・記述式問題を苦手とする児童が多いため、自分の思いや考えを、自分の言葉で表現する場面を設定します。
- ・決まった字数内で要約したり、自分のことばで説明したりする力を養う機会を設けます。

②読書好きにする

- ・月ごとに、たくさん本を読んだ子どもを表彰する取り組みを始めています。本を読むことの価値を高め、読書に目が向くようにしていきます。

③朝のモジュール学習の充実

- ・月曜から金曜までの毎朝、8:35～8:45は、モジュール学習を行っています。算数または国語の授業としての学習と、週に一日は読書タイムとして、学年で計画的に実施し、スキルアップを図ります。

④「ことばの学習」の時間の充実

- ・国語の文法学習の時間として、本校独自の「ことばの学習」を実施しています。3年生～6年生を対象として週1時間実施し、ワークシートを活用しながら、言語事項の定着を図っていきます。

⑤チャレンジ教室の充実（放課後学習）

- ・5・6年生の希望者を対象に、水曜日の放課後に実施しています。プリント学習を中心として、漢字学習や文章の要約に関する問題を取り入れ、苦手内容の克服をめざしていきます。

（2）家庭の協力を得て

①毎日、勉強する時間帯を決め、決まった時間に机に向かう。

②テレビを消し、ゲーム機はしまい、スマホは触らない。

③家族も一緒に読書したり、共通の話題で会話したりするなど、学習環境を整える。

④家庭での学習時間の目安を示し、毎日続ける。

1・2年生：30分、 3・4年生：60分、 5・6年生：90分

（3）学校と家庭、地域が手を携えて

①緑小しぐさ「あ・ろ・は」を習慣化する。（まずは、大人が見本に）

②地域行事、サタスタみどりへの参加。（さまざまな行事が復活しています）

今年度の調査結果からは、学習習慣や基本的な生活習慣が身に付いてきていることがわかりました。まだ不十分な部分については、個々に応じた指導を続けてまいります。

学校として一層取り組まなければならない内容につきましては、真摯に受け止め、職員が一丸となって対応を進めてまいります。

そして、ご家庭での学習習慣の定着にも、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。